

世界農業遺産の里で行う耕作放棄地対策・環境保全型農業価値理解促進のための交流活動事業

活動地域  宮崎県

ひろげる助成

1年目

実践

イベントの延べ参加者数 **424人**

イベントの満足度・理解度 **90%**

今年度計画の達成度 **78%**

目標達成度 **50%**



春めく！世界農業遺産の宮野原フットパス

課題

世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域に認定されているが、その価値を住民が認識できていない。人口減少、高齢化、耕作放棄地増加、農業の後継者不足、情報発信の不足。

目標

世界農業遺産の価値をいかした取組みを移住者も含めた住民が主体となって行い、都市住民や外国人観光客とともに継続することで、持続可能な進化した農村の実現を目指す。

活動内容と成果

- 世界農業遺産の里を歩いて巡るフットパスイベントを13集落で春6回・秋8回開催、食事処や食品加工グループが地産地消を意識した昼食を提供した
- オーナー制度を3集落で全11回開催、焼畑やヤボ焼の畑で栽培された雑穀セットやオレンジ芋で製造した焼酎を贈った
- 耕作放棄地対策での農業ボランティアを全3回開催、ボランティアには栽培したトウモロコシをお礼に贈った
- 伝統的に焼畑を行う椎葉村の向山集落では、生き物調査を専門家に依頼し行った。成果をもとに椎葉村教育委員会が小学生用の教材として生き物ハンドブックを作成した



椎葉村の焼畑で稗と粟の収穫

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

考えられる広報活動を行ったが、集客にばらつきが出た。天候や作物の育成状況、ガイドの都合など日程調整が難しかった。

■ 工夫した点

フットパスの食事をより確実に依頼できるよう、食事処と調整。オーナー制度は集落住民の参画を得られるよう、説明会を行った。

〒882-1201
宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字
鞍岡2840
電話：0982-73-6366
E-mail：gns@gokase.org
HP：http://www.gokase.org



今後の展望

フットパスは、生き物調査、犬と、プロカメラマンと、短歌を作りながらなど要素を加える。オーナー制度は農業体験と自然・文化体験を組み合わせる。生産品の購入、イベント参加で会員となり、特典が付く制度を構築。